



# T O K Y O R O P P O N G I R O T A R Y C L U B

東京六本木ロータリークラブ



『ロータリーは分かちあいの心』

～Rotary Shares～  
国際ロータリークラブ会長

発行日 2008年1月28日

No. 22

『一步一步進もう』

～Let's Move Forward Step by Step～  
東京六本木ロータリークラブ会長

## W E E K L Y R E P O R T



平成19年12月10日

卓話 日加関係 相互の国益を尊重する発展

駐日カナダ大使

ジョゼフ・キャロン 様



皆さんこんにちわ。お話する機会をいただ  
いて光栄に存じます。今日は日本、カナダ関  
係についてお話したいと思います。

まずカナダの外交政策です。グローバル化  
された貿易、国際経済に頼るカナダは、日本  
と同様、安定的で経済の発展のある世界が要  
ります。端的に言えばカナダは人材を欲しい  
のです。国民と政府はカナダの将来に貢献し  
てくださる移民を、大学や研究機関は留学生を、  
サービス産業、ホテル産業はたくさんの観光  
客を欲しいのです。またカナダはパートナー  
を増やしたいのです。ビジネスの国際競争力  
を高めるため海外からの知的所有権、効率の  
よいテクノロジーを、消費者はハイテク消費財、  
低コストの日用品やサービスを、政府と州政府  
は製造業や資源に対する海外投資の増大を  
望みます。カナダ企業は日本に毎月1,000億  
円のものやサービスを輸出し、日本から毎月  
1,500億円の物やサービスを購入しています。  
日本の食品の6%はカナダから輸入され、日  
本で使われるエネルギーの10%はカナダ産  
ウランから生産されています。皆さんに考  
えていただきたいことは、カナダと日本が  
経済通商関係を現代に即したものにすること  
により、お互いの経済を一層伸ばすこと  
です。両国間の貿易は、経済的な潜在能力  
をまだ十分に活用していないと考えます。  
このようなわけで自由貿易協定の可能性  
を考えていただきたい。最近、両政府が行  
った研究は、両国が2国間自由貿易により  
互いに大きな恩恵を受けることを明らか  
にしました。またそれによってもたらされ  
る両国の関係強化が、食料やエネルギー  
確保などの分野で日本の将来の安定に役  
立つとの結論であります。競争リスクが高  
まる世界で、日本のエネルギー、天然資  
源の供給は常にチャレンジであることに  
間違いありません。

だからこそカナダからの  
エネルギー、鉱物、林産  
資源の安定供給の確保は  
重要だと思えます。カナ  
ダはエネルギー総生産量  
が世界5位を占める国です。  
世界最大のウラン産出国  
であり世界第2位の石油  
埋蔵量を誇ります。



カナダと日本が共有するのは経済関係に留  
まりません。両国は国際平和と安全保障の維  
持と促進に真剣に取り組んでいます。しかし  
もつと平和維持に関して協力ができると  
思えます。ここ3年、日本の自衛隊の給油  
によってカナダのOECFにおける活動が  
可能になり、日本は重要な役割を果たし  
ました。私たちは日本政府と、カナダ、日  
本の協力的な活動についてもいろいろ相  
談してまいり、近いうちにいい結果が出  
ると思えます。

財政改革は日本で重要なテーマですが、  
カナダには財政再建の実績と豊かな経験が  
あります。カナダはG7先進工業国の中で  
財政基盤が最も安定し、財政黒字が続いて  
いる唯一の国です。累積債務の対GDP率  
は日本は180%だと思えますが、カナダ  
は29%。3年以内に25%まで下がると  
予想されています。また法人税、個人税、  
消費税はいずれも引き下げられていま  
す。私たちは90年代に構造改革を行い、  
四半世紀続けてきた財政赤字による政策  
運営という悪癖を改めました。これは痛  
みを伴うものでしたが改革の過程で多  
くの教訓を学びました。その多くは日  
本にも応用できると思えます。

現在の日加状況はすばらしいものでは  
ないですが、一緒に努力したらもっと健  
全なカナダと日本が出来ると思いま  
す。ご静聴ありがとうございます。